

部 局	財務部	補 職	部 長	氏 名	太田 優子
-----	-----	-----	-----	-----	-------

1. 部局の使命

- (1) 「創る改革」の推進—歳入・歳出、資産・負債の総合管理をとおして市の財務状況と課題点の「見える化」を図り、改革の取り組みにつないで市の発展を支える財務基盤を築きます。
- (2) 財源の創出—財政運営の責任部門かつ最大の歳入部門として、さらに市有資産を経営資源ととらえる資産活用をとおして財源を創出し、市政運営を支えます。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
<p>(1) 『経営戦略方針』および「財務戦略」にもとづき、部内各課が有する情報・知見・手法を結集し、「社会保障関係経費の増大」「公共施設等の老朽化」など今後の市政運営上の課題を打開するための全市的な取組みにつなぎます。</p> <p>(2) 財源の創出に関しては、財政運営・予算編成執行における徹底した精査はもとより、歳入確保、資産活用、建設コスト縮減など、部の所管分野においてあらゆるアプローチをとおして臨みます。</p> <p>(3) 部の事業・業務に関しては、デジタル・ガバメント戦略2.0に沿った取組みとともに積極的な公民連携や業務改革をスピード感をもって進めます。</p> <p>(4) これらの取組みについて、市民の共感と協力を得るため、効果的な情報発信・市民との関係構築に力を注ぎます。</p> <p>(5) 部の使命・方針の共有、各課の業務や課題等の情報共有、現場感覚の錬磨等により、業務が異なるセクション間においてもそれぞれの業務に対する相乗効果を生み出すとともに、プロ意識の高揚と相互に良い影響を与え合うことで、職員の成長を促します。</p>	<p>(1) 「中期財政計画」を令和7年度予算編成開始時（9月）に策定し、予算編成方針とあわせて各部局の予算要求にあたっての指針として今後の財政運営の概略を示しました。また、予算編成においては、執行率等実績に照らしながら必要な事業への組換え等を実施し、市民サービスの向上に資する予算編成としました。</p> <p>(2) 各部局におけるビルドアンドスクラップのほか、国・府交付金等の確保、交付税措置等有利な起債の活用、クラウドファンディングの拡大、市有財産の売却等、歳出・歳入両面から精査し、令和7年度予算の財源を確保しました。</p> <p>(3) 標準仕様書に準拠した新税総合システムに移行し、システム移行上の問題についての調整のほか、事務遂行上の課題等について整理、対応を進めました。また、滞納整理システムの新システムへの移行、公金収納デジタル化に向けた庁内調整を実施しました。</p> <p>(4) 定額減税の実施にあたっての情報提供、納税方法の動画作成、とよなかダッシュボードへの予算情報等の掲載、市有施設建設の進捗情報など、理解と信頼を高めるためのわかりやすい情報発信に努めました。</p> <p>(5) 部内プロジェクトの実施により、次年度以降の人材育成に資する企画案をまとめました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>財務戦略の推進【重点】</p> <p>(1) 中期財政計画の改定 ① (2)～(4)の取組みを踏まえ9月に改定します。 (2) 「子育てしやすさNo.1」、「基本政策」、「経営戦略」等に沿った投資の重点化 ① 「予算フレーム」の効果的な設定に取り組みます。 重点投資にかかるフレームの検証(～6月) 重点化の具体事業及び財源の精査(4～8月) 中期財政計画、経営戦略方針に反映(9月) ② 将来負担の低減につながる予算編成を行います。(9月～) (3) 中期の財政運営に関するシミュレーションの検討 ① 財源創出・公債費負担等を踏まえた財政運営の中長期シミュレーションを検討します。 事務事業見直し案件の反映(都市経営部と連携)(継続して実施) 今後想定される建設事業、市有地利活用等の把握(～6月) 社会保障関係経費、人件費・物件費、公債費等を含めた試算(～8月) ② 経費増大傾向について全部局で抑制に取り組みます。(通年実施) 委託仕様の見直し・社会保障関係経費の増の分析等(通年実施) (4) 公共施設等再編の加速化に向けてのしくみの検討 ① 公共施設等総合管理計画の中間見直しに向けた振り返り、検証を実施します。(～10月)〔新規〕 ② 地区会館に関し『地域コミュニティ拠点施設再整備プラン』に沿った取組みを引き続き実施します(通年)。</p>	<p>(1) 中期財政計画の改定 予定どおり9月に改訂、予算編成方針と同時に発出し、庁内に財政運営の道筋を示しました。 (2) 投資の重点化 ・重点戦略フレームを令和5年度(2023年度)に引き続き15億円で設定し、2025経営戦略方針に沿って重点事業を設定しました。 ・「子育てしやすさNo.1」予算は令和5年度(2023年度)・R6年度(2024年度)2か年で約60億円とし、5年100億円にむけて着実に編成しました。 (3) 財政シミュレーションの検討 ・中期財政計画の改定にあたり、税収見通し、市有地利活用、事務事業の見直しの方向性等を踏まえ、収支計画等に反映させました。 ・賃金上昇、物価高騰等を踏まえた人件費・物件費・社会保障関係経費等の増大傾向について、予算編成過程において各部局と分析・検討・調整して予算に反映させました。 ・参考資料として中長期的なシミュレーションのたたき台を検討しました。 (4) 公共施設等再編の加速化 ・公共施設等総合管理計画の中間見直しに向けての進め方、スケジュール等を検討し、令和7年度より見直しに着手することとしました。 ・地区会館の再編のため、引き続き個別調整を進めました。</p>	<p>(1) 中期財政計画 行政需要の拡大、人件費・物件費・社会保障関係経費の増加傾向、大型建設事業の実施など歳出の拡大に対応するため、歳入・歳出両面から全庁的な取組みを継続します。 (2) 投資の重点化 R7年度予算編成においても必要な施策について重点化を継続して行います。 (3) 財政シミュレーション 中期財政計画でのシミュレーションのほか、R7年度(2025年度)に設置されるプロジェクト・チームと連携し、持続可能な財政運営のため、中長期的なシミュレーションを検討します。 (4) 公共施設等総合管理計画の中間見直し ・公共施設等の適切な管理運営のため、令和7年度(2025年度)～令和8年度(2026年度)で計画の中間見直しを行います。 ・施設の多機能化について調整を進めるとともに、コミュニティ拠点施設等についても取組みを継続します。</p>
	<p>総合計画</p> <p>5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます</p>		
	<p>基本政策</p>		
	63 財務基盤の強化	62	市有財産の有効活用
	32 南部地域の活性化		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>積極的な財源の創出と着実な歳入の確保【重点】</p> <p>(1) 市有地利活用及び公共施設再編の両面戦略の推進</p> <p>①中学校給食受託事業者の募集を行うための各種事務を適切に進めます。(4月～)【新規】</p> <p>②旧さくら学園中跡地利活用に関する事業者募集に向け各種事務を適切に進めます。(4月～)【新規】</p> <p>③定期借地権・運営権方式導入に関する調整を行います。(継続して実施)</p> <p>④公共施設等総合管理計画の中間見直しに向けた振り返り、検証を実施します。(～10月)【再掲】</p> <p>⑤引き続き、案件ごとの建設コスト縮減を実践します。</p> <p>(2) 課税客体の把握</p> <p>①市民税の未申告調査を行います。(継続して実施)</p> <p>②固定資産税の登記・実測の相違把握を行います。(継続して実施)</p> <p>(3) 債権回収整理の高度化</p> <p>①AIの活用及び納付環境の整備を進めます。(継続して実施)</p> <p>②専門研修等により知識・技術の底上げをはかります。(継続して実施)</p> <p>③滞納整理を進めるとともに、全庁的な債権回収整理の高度化を図ります。(継続して実施)</p> <p>(4) その他『歳入確保戦略』にもとづく取組み</p> <p>①前年度『歳入確保戦略』の進捗状況を総括・公表(9月)</p> <p>②『債券運用戦略』に基づく運用(継続して実施)</p> <p>③寄附専用サイトの見直し(クラウドファンディングの発展的活用等)(4月～)【拡充】</p> <p>④ふるさと納税ポータルサイトを追加するとともに返礼品の開拓(4月～)【拡充】</p> <p>⑤口座振替促進のためキャンペーンを実施(継続して実施)【拡充】</p> <p>⑥施策反映のための税データの提供方式等検討(4月～)</p>	<p>(1) 市有地利活用等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食受託事業者を決定し、引き続き契約手続き等事務を進めます。また、旧さくら学園中利活用の事業者募集を開始しました。 ・定期借地権については事業者と引き続き調整を行いました。 ・公共施設等総合管理計画の中間見直しに向けての進め方、スケジュール等を検討しました。【再掲】 ・不調回避に留意しつつ建設コスト縮減に継続して取り組みました。 <p>(2) 課税客体の把握</p> <p>市民税の未申告調査、固定資産税の登記・実測の相違把握等を継続して実施しました。</p> <p>(3) 債権回収整理の高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI、RPAツールの活用等による債権管理の省力化を行いました。 ・債権回収対策会議の開催のほか庁内研修を実施するとともに、関係部局からの案件引継ぎ等を実施し滞納処分につなげました。 <p>(4) 歳入確保戦略に基づく取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附専用サイトの見直し、ふるさと納税ポータルサイトを追加するとともに、口座振替促進のためのキャンペーンを拡充しました。 ・税データの活用については、都市経営部と連携しながら担当部局と調整、提供を行いました。 ・企業版ふるさと納税を活用しプロジェクト研究を実施しました。 	<p>(1) 市有地利活用等</p> <p>引き続き、学校跡地の利活用に向けて事業者募集手続きを継続するとともに、活用方針の決定していない学校については、関係部局と連携し進めていきます。</p> <p>(2) 課税客体の把握</p> <p>引き続き把握に努めるとともに、新たな手法の導入などより効率的・効果的な手法を検討します。</p> <p>(3) 債権回収の高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIの説明変数を追加するとともに、契約の更新時期にあわせて、より効果的な取組みを検討します。 ・新滞納整理システムの全庁的な利用を促進します。 <p>(4) 歳入確保戦略に基づく取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税データ利活用については、全庁的に利用が可能な形での提供のため引き続き諸条件の設定等調整します。 ・R7年度(2025年度)に歳入確保戦略の見直しを行います。
	<p>総合計画</p> <p>5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます</p>		
	<p>基本政策</p>		
	63 財務基盤の強化	62	市有財産の有効活用

No	当年度目標(当初設定)		実績			
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果			
		課題・今後の方向性				
3	<p>標準化・デジタル化への対応と業務改善</p> <p>(1) デジタル活用による生産性の向上</p> <p>① 税務システムのクラウド化、標準化への対応を行います。(継続して実施)</p> <p>② 共通納税システムの利用拡大による公金収納デジタル化について、地方税共同機構との連絡調整をはかりながら関係部局と連携して推進します。(継続して実施)</p> <p>③ 新滞納整理システムを導入します。(10月～) [拡充]</p> <p>④ 業務のアナログ的部分の洗い出しとデジタル技術の活用を進めます。(通年)</p>		<ul style="list-style-type: none"> 標準仕様に準拠した税務システムに移行しました。旧システムから移行できなかった仕様に関する事務対応や不具合など継続して対応します。 公金収納デジタル化について、会計課と連携し、関係会議を開催し、情報共有を進めました。 新滞納整理システムを稼働しました。 税務システムの標準化対応に関連し事務の効率化を進めていく予定でしたが、不具合対応等を優先しました。 		<ul style="list-style-type: none"> 税務システムの標準化への対応を継続します。 標準化に関連した事務の整理を継続して実施します。 公金収納デジタル化に向けて対応を継続します。 「書かない窓口」実施に向けた調整を行います。 	
	総合計画					
5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		5-2- (2)	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます		
基本政策						
63	財務基盤の強化		64	とよなかデジタル・ガバメントの推進		
60	いつでも、どこからでも手続きできる市役所づくり					

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
4	<p>人づくり・組織づくり</p> <p>(1) 計画的な人材育成 ①職員一人ひとりの経験(技術・技能・知識)に応じた計画的な人材育成を行います。(継続して実施) ②職員の知識・技能等を共有するしくみ(目標管理・研修・OJT)を踏まえて職場全体のさまざまな意識向上につなげます。(継続して実施) ③人事課主催研修、外部研修等の積極的な受講をすすめます。(継続して実施)</p> <p>(2) 部内エンゲージメント向上のための取組み ①資格取得など知識・技術の習得及び活用を促進します。(継続して実施) ②部内プロジェクト等によりエンゲージメント向上のために必要な取組みを検討します。(5月～) [新規]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各課での業務研修の実施のほか、eラーニングによる家屋被害認定業務研修、税担当での横断的な研修を実施しました。 内外問わず積極的な研修受講を促しました。 全庁向け研修を継続して企画運営しました。 部内課長補佐でエンゲージメント向上のための取組みを検討し、まとめました。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的能力、専門的知識の両面の向上のため、引き続き研修の積極的な受講に取り組みます。 部内課長補佐で検討した内容を具体化し、部内各課の業務の共有等を進めます。 	
	総合計画			
5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます			
基本政策				
63	財務基盤の強化	65	職員力を高める人材育成等の推進	
69	創る改革を推進するための環境づくり			

No	当年度目標(当初設定)		実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果		
		課題・今後の方向性			
5	災害対応の強化 (1) 災害対応体制の強化 ①災害対応マニュアル、業務継続計画を更新します。(継続して実施) ②市有施設の被害状況の報告について、庁内に向けて発信を行います。(継続して実施) (2) 調査スキルの維持、業務のICT活用 ①業務継続に資する幅広い知識を獲得できるよう多種多様な業務を経験できる機会を創設します。(継続して実施) ②被災者支援システムの活用とともに、部内体制整備、訓練等を実施します。(継続して実施)		・災害対応マニュアル等を更新しました。 ・eラーニングによる家屋被害認定業務研修を実施しました。(再掲)		
			・災害を想定し、繰り返し、また誰もが対応できるよう継続的にマニュアルの見直し、研修の実施を継続します。		
総合計画					
5-2-	(1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	5-2-	(2)	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます
基本政策					
63	財務基盤の強化		65	職員力を高める人材育成等の推進	
64	とよなかデジタル・ガバメントの推進				

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	
		課題・今後の方向性		
6	市民へのわかりやすい情報発信と関係づくり (1) 『財務部情報発信質的強化コンセプト』に基づいた情報発信 ①通知、説明文書等をできるだけわかりやすいものにしていきます。 (継続して実施) ②ホームページも理解と共感を得られるような内容にするよう取り組みます。(継続して実施) 「とよなかのお財布事情」の更新を継続します。(3月) 公共施設に関する発信を強化します。(継続して実施) ③「寄附文化の醸成」に引き続き取り組みます。(継続して実施) (2) 来庁者・関係者とのコミュニケーションをとおした信頼関係の構築 ①電話、窓口での応対を引き続き丁寧に取り組んでいきます。(継続して実施)		<ul style="list-style-type: none"> ・継続してホームページ等の情報更新に取り組んだほか、動画作成、施設の建設状況など新たな情報発信などに取り組みました。 ・定額減税の実施にあたって、わかりやすい情報発信に努めました。 ・予算・決算についてもわかりやすい情報発信につとめました。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・市政情報の発信のタイミング、内容、わかりやすさに留意し、引き続き取り組みます。 ・税務システムの標準化対応に伴い、これまで改善を進めてきた様式が使用不可となるため、説明に留意し進めていきます。 	
総合計画				
5-2-	(1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策				
63	財務基盤の強化		61	対話と発信による共感・共創づくり

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	財務戦略の推進 (1) 基本政策実施に伴う投資財源(資源)の確保や、臨時・経常経費それぞれのコスト効率を高めるとともに、歳入につながる基本政策間の相乗効果・好循環の創出を図ります。 (2) この期間内に、社会保障関連経費の増大・公共施設等の老朽化に関し、財務面での道筋をつけます。 (めざす成果) *財務戦略の奏功による都市経営の好循環の形成 *社会保障関係経費・公共施設老朽化問題の打開に道筋	(1) 好循環の形成・社会保障関係経費増大の打開 ①データ分析等を活かした社会保障関係経費の伸びの抑制：継続実施 (2) 公共施設老朽化問題の打開 ①市有地利活用と一体化した公共施設の再編：継続して実施 ②地域コミュニティ拠点施設再編に向けた地元調整：継続して実施
	総合計画	
	5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	
	基本政策	
63	財務基盤の強化	62 市有財産の有効活用
32	南部地域の活性化	
2	積極的な財源の創出と着実な歳入の確保 (1) 税収向上策を具体化するためのデータ利活用と施策への反映のための取組みをすすめます。 (2) 市有地利活用と公共施設再編を包括的に進めることで両者の相乗効果を発揮し、市域の発展につながります。 (3) 収納徴収業務の適正な実施に向け全庁調整を継続し、公正公平な市民負担のあり方と財源確保を実現します。 (4) 寄附文化の理解を広げ、クラウドファンディングの定着を図ります。 (めざす成果) *税収の着実な向上 *寄附文化の浸透 *資産活用と長期的な本市のまちづくりとで相乗効果の発揮 *建設コスト増大期の効果的な財源調達・財政負担の軽減と平準化 *市町村債権回収整理におけるトップランナーのポジション取得	(1) 税データ利活用と施策への反映の取組み ①施策反映のための税データの提供方式等検討：令和6年度(2024年度)～ (2) 市有地起点の財源創出を具体化、新たな手法の導入 ①個々の案件による財源創出：継続して実施 ②流動化手法による具体事業開始：令和9年度(2027年度) ③建設コスト縮減の定着：継続して実施 (3) 課税客体の把握・債権回収整理の高度化 ①課税客体の把握：継続して実施 ②債権回収整理スキルの向上：継続して実施 (4) クラウドファンディングの活用拡大 ①QRコードによる寄附：令和6年度(2024年度)
	総合計画	
	5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	
	基本政策	
63	財務基盤の強化	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
3	デジタル化への対応と業務改革の推進 (1) 業務の簡素化・ICTの活用により、従来からの定型業務については生産性を向上することをめざし、それにより新たな取組み等、非定型かつ創造的な業務にシフトし、業務全体の成果を向上させます。 (2) 業務の簡素化・自動化を実施したうえで、事業者との協働により恒常的に業務改善を継続する体制の確立を図ります。 (めざす成果) * デジタル化社会に適合した業務の進め方と働き方の確立 * 市民が手続きでの来庁不要 * 定型的業務は基本ICT化		(1) 業務簡素化、電子申請化、ICT活用による生産性向上及び部内ICTシステムの次世代型への更新：継続的に実施 ① 税システムのクラウド化・標準化：令和6年度（2024年度）～ ② eLTAXの進化に合わせた公金収納デジタル化対応：令和8年度（2026年度）～ (2) 市民の利便性向上及び恒常的な業務改善 ① 行政財産使用許可にかかる決定通知等処分通知の電子化の検討：全庁の動きに合わせて ② 納税通知書の電子化：令和9年度（2027年度）～ ③ 「書かない窓口」への対応検討：令和7年度（2025年度～）	
	総合計画			
	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	5-2- (2)	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます
	基本政策			
63	財務基盤の強化	60	いつでも、どこからでも手続きできる市役所づくり	
64	とよなかデジタル・ガバメントの推進			
4	人づくり・組織づくり (1) 自ら課題設定し自学成長するプロフェッショナルたる職員像及び組織のあり方を確立します。 (2) 市政を取り巻く環境に柔軟かつ高レベルで対応するため、職員一人ひとりの経験（技術・技能・知識）に応じた人材育成に取り組みます。 (3) 従来業務を着実に執行するに留まらず、常に新たな取組みに挑戦する組織風土を定着させます。 (めざす成果) * 職員のワークエンゲージメントの向上と、ワークエンゲージメントを高める組織の実現 * 新たな業務に適合したプロ職員像と自己研鑽の定着及び新時代のプロ職員による安定した業務執行 * 新たな取組みに挑戦し、常に学び変化し続ける組織風土の定着		(1) 人材育成 ① OJTのたゆまぬ改善向上：継続して実施 ② 独自研修の実施：継続して実施 (2) 組織風土の確立 ① ワークエンゲージメントを高める職場の土壌づくり ② 職場改善等現場発の発想に基づく改善および順次拡大：継続して実施	
	総合計画			
	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
	基本政策			
63	財務基盤の強化	65	職員力を高める人材育成等の推進	
69	創る改革を推進するための環境づくり			

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
5	<p>災害対応の強化</p> <p>(1) 地震・風水害それぞれに的確な初動を行うとともに、調査など現場稼働については必要に応じて応援を受けながら体制を立ち上げ、スピーディーに処理する流れを確立します。</p> <p>(2) 調査スキルの維持、業務のICT活用やフローの効率化に継続して取り組みます。</p> <p>①多種多様な業務を経験できる機会を設け、幅広い知識を有する人材を育成</p> <p>(めざす成果)</p> <p>*地震・風水害・感染症それぞれの対応の確立と職員スキルの維持</p>		<p>(1) 災害対応体制・迅速な処理</p> <p>①体制強化：継続して実施</p> <p>②マニュアル等の見直し・改訂：継続して実施</p> <p>③災害時応援体制の構築：継続して実施</p> <p>(2) 調査スキルの維持・効率化</p> <p>①多種多様な業務を経験できる機会の確立：継続して実施</p> <p>②ICTを活用したフローの構築：関係者調整の上段階的に向上</p>	
総合計画				
5-2-	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		5-2-	(2) デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます
基本政策				
63	財務基盤の強化	64		とよなかデジタル・ガバメントの推進
6	<p>市民への発信強化と関係づくり</p> <p>(1) 情報発信のチャンネルの強化や地域とのつながり強化の取組みにより、財政運営・税・資産等の財務に関する市民の理解を確実に進め、市政への信頼が向上するような新たな取組みを継続して実施します。</p> <p>①市ホームページの随時更新、内容の充実</p> <p>②コミュニケーションのあり方について、各職員が課題として共有し、コミュニケーション力を向上</p> <p>(めざす成果)</p> <p>*財務に関する市民の理解と市政への信頼感向上</p> <p>*一般の多数市民が市の財務および市政を信頼</p>		<p>(1) 市民への発信強化と関係づくり</p> <p>①『情報発信質的強化コンセプト』に基づいた情報発信：継続して実施</p> <p>②業務をとおした対話・関係づくり：常に向上をめざしつつ継続</p>	
総合計画				
5-2-	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます			
基本政策				
63	財務基盤の強化	61		対話と発信による共感・共創づくり